

■世界に誇れる建築物

建物は、王立英国建築家協会のロイヤルゴールドメダルを受賞された伊東豊雄氏の設計。大屋根は自由曲面シェル構造で、周囲の山並みが描くおおらかなカーブに溶け込むようなデザインとなりました。

また、周辺環境デザインは、慶應義塾大学教授（建築当時）の石川幹子氏にお願いをしました。お二人とも現代のトップランナーであり、最高のパートナーによるコラボレーションになりました。

■ゆとりとやすらぎのある空間

ゆるやかな曲面に包まれたやわらかい建物内部の空間をはじめ、車寄せ、エントランスホール、炉前ホールはゆとりのあるスペースとなっています。

■瞑想の空間づくり

周囲には水と緑の息吹を注入した公園墓地が整備され、待合室や待合ロビーから眺める瞑想の池は、故人を追想し、やすらぎを感じさせる空間となっています。

■肅然とした流れ

故人の尊厳を重んじ、告別室、収骨室などを専用室とし、他の会葬者とは自然に錯綜しない配置となっています。

■環境に配慮した火葬炉設備

火葬炉設備は、棺の大型化傾向に対応するようすべて大型人体炉です。火葬炉は、無臭、無煙の最新設備を導入し、火葬から収骨時間まで約90分と短縮されました。

- 平成15年12月 基本構想策定
- 平成16年 5月 実施設計着手
- 平成16年10月 都市計画決定
- 平成17年 4月 市営斎場建設工事着手
- 平成18年 6月 竣工
- 平成20年11月 第49回建築業協会賞受賞



待合ロビー



待合室(和室)



待合室(洋室)



エントランスホール



炉前ホール